

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No.22

令和3年2月25日  
文責 渡辺 富美夫



## キャリア教育

河口湖北中学校  
～職業講話～



コロナ感染症の影響で職場体験学習が中止となり、今回はそれに替わる活動として職業講話を企画しました。ねらいとして①富士河口湖町在住の講師を招き、地域に根ざした職業を知る。②様々な職業観を聞き視野や価値観を広げる。③地域の良さを知り将来のUターンをめざす。④SDGsを職場でどのように実践しているかを知る。以上の点を考えたとき、NPO法人かえる舎がキャリア教育の取組をしていると聞き、講師6名を招いて実施することができました。

「自分が知らなかった職業の魅力に気づくことができ、今めざしている夢以外にも考えてみたいと思いました。」「富士河口湖の魅力は地域の人と助け合いができていところ、地域の人と距離が近く自分の事を見てくれる人が必ずいるところ。」「この授業を受ける前は将来のことをあまり広く考えていなかったけど、話を聞いて自分にはなかった考え方を知ることができました。とても可能性が広がりました。」「今まで僕は夢がないからダメだと思っていたけど考え方が変わった。」

等終了後の感想のように、生徒達は山梨や富士河口湖町の良さ、仕事の考え方や価値観等たくさんの事を学び取ることができました。「将来住んでみたい町は」という質問に、講話前は約22%だったのが講話後には約80%の生徒が「富士河口湖に住みたい」に変わりました。地域でご活躍の講師の方々は富士河口湖町が大好きで、楽しそうに生徒達に語り、仕事に誇りを持って話してくださいました。生徒達は心を引かれ、真剣に聞き、質問を活発に行う事ができ、学習を深めました。これから、河口湖北中の生徒がいつの日か、この町や様々なフィールドで生き生きと活躍し、社会貢献できる人になることを確信した活動となりました。



## 地域<sup>を</sup>で学ぶ 富士山学習 勝山小学校 「わたしたちのまちの歩み」



各学校では、地域に出て、地域を学び、地域で学ぶ学習をしています。勝山小3年生では、「わたしたちのまちの歩み」の学習で学区にある「富士御室浅間神社」に行き、お祭りなど神社に関する事を宮司の濱将盛さんにお話していただきました。子どもたちにとって関心のあるお祭りが、人々の生活に強く結びついていることや昔からは変わってきているものがあることを学びました。また、同じ敷地内にある「勝山歴史民俗資料館」も見学しました。ここには、昔の人々の生活の様子がわかる道具などが展示してありますが、一昨年にリニューアルしてとても見やすくなりました。生涯学習課文化財担当杉本悠樹さんが展示してあるものをもとにわかりやすく説明してくださいました。子どもたちは、見たこともない昔の道具に興味を持ち、目を輝かせて聞いていました。



昔は養蚕やざる作りをしていた背景には富士山も関係していることを知り、驚いていました。

## 卒業まで〇日

小学6年生、中学3年生の教室にある“卒業まで〇日”の日めくりカレンダーもいよいよ残り少なくなってきました。教育センターでも、3名が卒業を迎えます。受験勉強にこつこつと取り組む中で担任と相談するなどして、それぞれの進路を決めました。町内230名近い卒業生のどの子にとっても義務教育を終えて、新たな一歩を踏み出すのはとても大変なことだと思います。希望に満ちた新たなスタートができることを祈っています。